

インプラントのための歯みがき剤 この秋、新登場！

2014年
9/10～
販売開始



インプラント歯みがきジェル ジェルコート IP

内 容 量 90g (200～300回分)

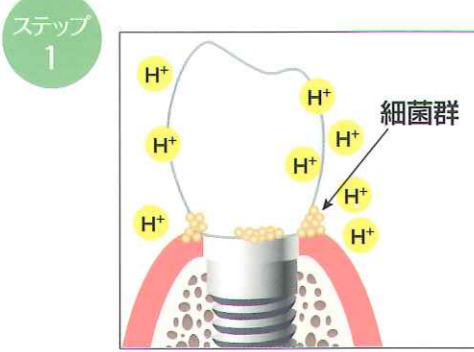
患者様価格 1,000円 (税抜)

医薬部外品 薬用歯磨剤 歯科医院専売品

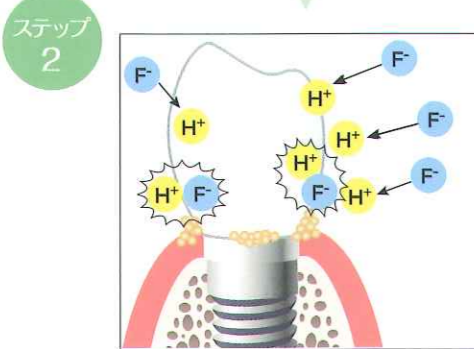
フッ素によるインプラントの腐食

チタンは、金属の中で最も安定で、生体親和性が高いといわれています。しかし、チタン(合金)インプラントは、一定の条件下において一般の歯磨剤に含まれる低濃度フッ素(1,000ppm以下)によって腐食してしまうことが明らかになりました。¹⁾²⁾

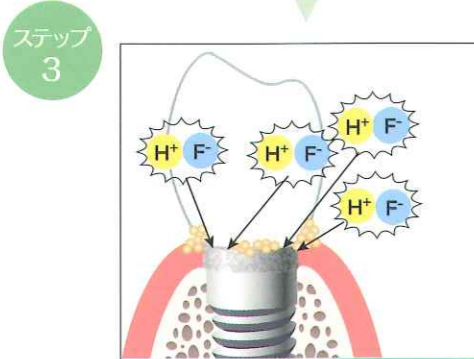
チタンインプラント<腐食のメカニズム>



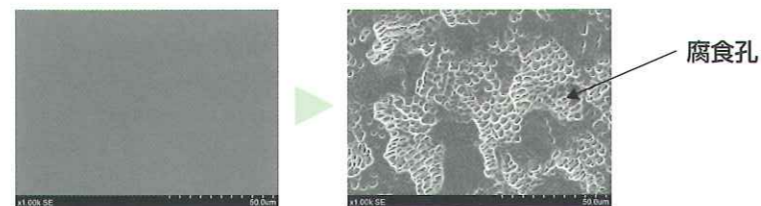
- インプラントを埋入した患者さんのプラークコントロールがきちんとできていないと、インプラント周辺にミュータンス菌などの細菌が繁殖します。
- 繁殖した細菌(ミュータンス菌など)が産生する酸によって、インプラント周辺のpHが低下し、酸性状態(pH 5.0以下:水素イオン(H⁺)が多い状況)になります。



- このような状態のなか、「フッ素配合歯磨剤」を使用すると、フッ素イオン(F⁻)が遊離し、口中の水素イオン(H⁺)と結合。チタン腐食性の高い「フッ酸(HF)」が生成されます。
- $F^- + H^+ \rightarrow HF(\text{フッ酸})$



- 生成したフッ酸(HF)が、インプラント周囲溝内で、チタンインプラントの鏡面状に磨かれたネック部分を腐食します。



※酸性条件下(pH4.0)で、チタンをフッ素配合歯磨剤(600ppmF)に1日浸漬

インプラントが腐食してしまうことで、粗造になったインプラント表面に口腔内細菌が根強く繁殖し、インプラント周囲病変の発症原因になり得ることが予測されます。

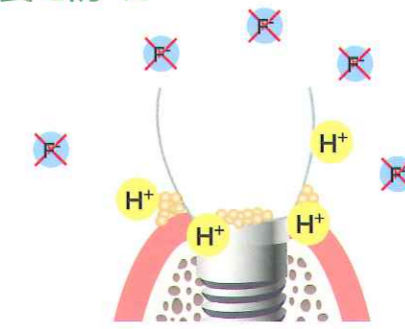
埋入したインプラントを永く保つためにも、リスクファクターの排除(フッ素無配合の選択)が、セルフケアにおいて、重要な予防策になると考えられます。

監修:九州大学大学院 歯学研究院 口腔機能修復学講座
先端融合学分野 准教授 中川 雅晴

インプラント歯みがきジェル ジェルコートIPの特長



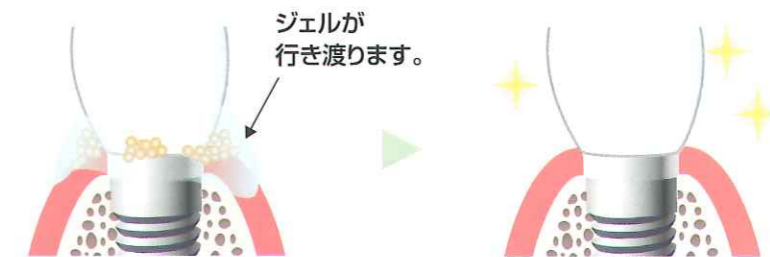
1 フッ素無配合 インプラントの腐食を防ぐ。



チタン腐食性の高い「フッ酸」が生成しないため、歯肉縁上、縁下での腐食を防ぎます。

2 高い殺菌効果³⁾ 毎日のプラークコントロールのために。

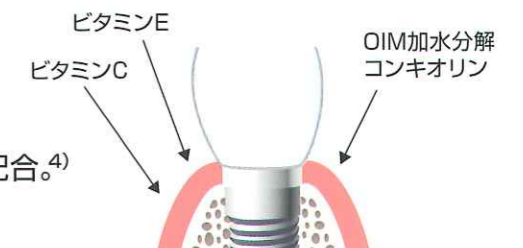
塩酸クロルヘキシジン(殺菌剤)を配合した滞留性の高いジェルがインプラント周囲溝周辺に行き渡り、しっかり殺菌します。



3 歯肉の活性化 インプラントを守るために、天然歯を守るために。

ジェルコートIPは、血行促進効果のあるビタミンE、ビタミンC配合。

さらに、歯肉活性成分OIM加水分解コンキオリン配合⁴⁾インプラントを保護している歯肉を活性化します。



<参考資料>

- 1) 中川雅晴: インプラント体の表面性状と表面構造をどう考えるかーチタンとフッ素の関係. THE NIPPON Dental Review, Vol.72(12): 29-34, 2012.
- 2) Masaharu Nakagawa, Shigeki Matsuya, Koichi Udoh: Effects of fluoride and dissolved oxygen concentrations on the corrosion behavior of pure titanium and titanium alloys. Dent Mater J, 21(2): 83-92, 2002.
- 3) 武内博朗, 花田信弘ら: 3DS(Dental Drug Delivery System)によるミュータンスレンサ球菌の臨床的除菌法の検討. 神奈川県歯科医師会第1回学術大会誌: 41-47, 2002.
- 4) 小川智久ら: OIM加水分解コンキオリン配合歯磨剤の歯肉修復効果について. 日本歯科人間ドック学会誌, Vol.4: 19-23, 2004.



インプラントを守る。

フッ素無配合の歯みがき剤

インプラント歯みがきジェル ジェルコート IP

内容量 90g (200~300回分)

患者様価格 1,000円 (税抜)

医薬部外品

薬用歯磨剤

歯科医院専売品

<主な配合成分>

薬用成分/塩酸クロルヘキシジン、酢酸トコフェロール、β-グリチルレチン酸 抗酸化剤/ビタミンCテトラヘキシルデカン酸
湿潤剤/OIM加水分解コンキオリン キレート剤/ポリリン酸ナトリウム 甘味剤/キシリトール

ジェルコートIPの特長

1. フッ素無配合

フッ素無配合で、フッ素によるチタンインプラントの腐食を防ぎます

一般の歯磨剤に含まれる低濃度フッ素(1,000ppmF以下)によっても、一定の条件下においては、チタンを腐食することがわかってきました。そのフッ素によるミクロの腐食も、インプラント周囲炎を引き起こす原因の一つと考えられています。このような、インプラントを失う原因となり得る“リスクファクター”を一つでも排除することが、インプラントを永く保つ第一歩と考えています。

2. 高い殺菌力

塩酸クロルヘキシジン配合で、インプラント周辺もしっかり殺菌

フッ素コート歯みがきジェル『ジェルコートF』と同様に、塩酸クロルヘキシジン(殺菌剤)を配合した滞留性の高いジェルがお口のすみずみまで行きわたり、殺菌効果を発揮します³⁾。インプラントや残存歯の周辺で効果的に働き、インプラント周囲炎や歯周病、う蝕を予防します。

日々のしっかりしたブラッシングと実証された殺菌効果で、歯周病、う蝕を予防することが重要であると考えます。

※カリエスリスクの高い患者様には、歯科医院での定期的なフッ素塗布をお勧めします。

(院内でのフッ素塗布の際は、インプラントを保護してください)

3. 歯肉の活性化

ビタミンE、ビタミンC(誘導体)、OIM加水分解コンキオリン配合で、元気な歯肉に

血行促進効果のあるビタミンE、ビタミンC、歯肉活性成分のOIM加水分解コンキオリンが、歯肉退縮を予防し、歯肉を活性化⁴⁾、ハリを与えることで、インプラント体の露出を予防します。歯肉への配慮は、インプラントを守るためにも重要な要素であると考えています。

4. 研磨剤・発泡剤 無配合

研磨剤無配合で、ブラッシングによるインプラント(上部構造)や天然歯の摩耗を防ぎます。毎日の歯みがきには、歯面を傷める成分は必要ないと考えています。

また、しっかりと時間をかけたブラッシングが予防の基本と考え、発泡剤は無配合にしています。

インプラントには、フッ素無配合の「ジェルコートIP」をおすすめします。

補綴処置をされた患者さんにとって最も重要なことは、その状態が長期間安定し、歯や噛みあわせを気にすることなく毎日をご過ごせ、欠損があってもそこから拡大しないことです。そのため、インプラント症例を含め、3ヶ月または6ヶ月ごとにメンテナンスのための来院を奨励。その都度、PMTC、3DSとして「ジェルコートF」の塗布を行い、自宅でのセルフケアにも「ジェルコートF」の使用をおすすめしてきました。そのことが、患者さん自身のメンテナンスへのモチベーションの向上や欠損拡大の抑制につながっています。

しかし、近年、インプラントについては、フッ素による腐食を生じる可能性が明らかになってきました。

インプラントを有する症例には、フッ素無配合の「ジェルコートIP」を用いてメンテナンスを行うことをおすすめします。また、天然歯にも配慮した成分構成となっているため、インプラントと天然歯が混在している患者さんにも安心しておすすめできます。

大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座
歯科補綴学第二教室 教授 前田 芳信